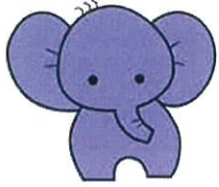
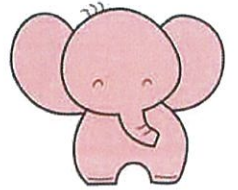


第21回 小象の会生活習慣病予防治療フォーラム



最後まで健康に



主催：NPO 法人 小象の会（生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会）

日時：2017年2月25日（土） 15時～17時（14時30分開場）

場所：ホテルプラザ菜の花 4階「楨」

：千葉市中央区長洲 1-8-1 電話（043）222-8271

：千葉駅より千葉モノレールで5分「県庁前駅」下車徒歩0分

：千葉駅よりバスで10分「県庁前」下車徒歩1分

参加費：無料

定員：196人

プログラム

15:00／開会挨拶

内田 大学 理事（ほたるのセントラル内科院長）

15:05／講演

司会：栗林 伸一 副理事長（三咲内科クリニック院長）

『**予防医学のとりくみ 地域のつながりと健康**』

演者：亀田 義人氏（千葉大学予防医学センター 特任助教）

15:45／特別講演

司会：篠宮 正樹 理事長（西船内科院長）

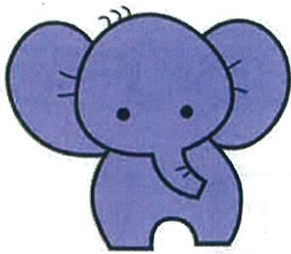
『**最後まで自分らしく生きるために**』

演者：高林 克日己氏（三和病院顧問）

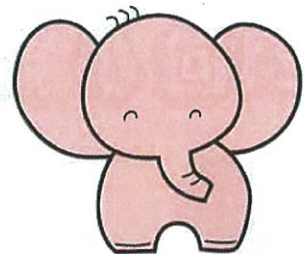
16:55／閉会挨拶

中野 英昭 副理事長

後援：千葉県／千葉県教育委員会／千葉市／千葉県医師会／千葉市医師会／千葉県歯科医師会
千葉県薬剤師会／千葉県看護協会／千葉県栄養士会／千葉県臨床検査技師会／千葉県糖尿病協会
千葉県糖尿病対策推進会議／健やか未来都市ちばプラン推進協議会／千葉日报社（一部団体は現在申請中）



演者紹介



講演 亀田 義人氏(千葉大学予防医学センター 特任助教)

1979年、千葉県木更津市生まれ。2005年佐賀大学医学部卒。卒後千葉大学循環器内科に入局。君津中央病院、千葉県救急医療センター、千葉大学病院にて研修し、千葉大学大学院で心不全研究により博士号取得。救急現場の経験から、今後超高齢社会に対応していくためには予防医学や政策的アプローチが重要と認識し、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長補佐、医薬食品局血液対策課課長補佐を歴任。2015年4月から千葉大学病院病院長企画室、千葉大学予防医学センター等を併任。病院の運営管理の調整及び、近藤克則教授のもと、健康の社会的決定要因や健康格差について研究(JAGESプロジェクト)。船橋市ふなばし健やかプラン21推進評価委員会会長を務める。

特別講演 高林 克己氏(三和病院顧問)

- 1949年 東京都生まれ。
- 1975年 千葉大学医学部卒。千葉大学医学部附属病院第二内科に入局。内科専門医を務め、アレルギー、膠原病の臨床と研究を進める。
- 1990年 ドイツ連邦共和国MEDIS研究所留学。
- 1999年 東松戸病院において高齢者医療と出会う。
- 2004年 千葉大学医学部附属病院企画情報部教授となる。
- 2011年 同副病院長として経営および企画を担当。
- 2012年 高齢社会医療政策研究部を立ち上げる。
- 2014年 超高齢社会研究センター長就任。また千葉県による「終末期医療などに関する高齢者向け啓発プログラム開発・実施事業」の有識者会議議長を務める。
- 2015年 松戸市の三和病院顧問に就任。現役臨床医としての業務をこなしながら、日本在宅医療学会理事、リウマチ財団情報委員長などを兼務。

お申し込み方法

はがき、ファクス、Eメールで右記に、連絡先を明記の上、お申込み下さい。

(定員を超えた場合にのみ、ご連絡します。)

なお、席に余裕があれば当日参加も受け付けます。

小象の会事務局

〒260-0808 千葉市中央区星久喜町946番地の7

電話:043-263-1118

F A X:043-265-8148

e-mail:naika@2427.jp